５カ国出場、南米相撲大会＝ボン・レチーロに猛者結集

来社した飯田さん（左）と大瀧多喜男理事

　ブラジル相撲連盟と南米相撲連盟が９月１５、１６日に「南米相撲選手権大会」をサンパウロ市ボン・レチーロ常設土俵場（Avenida Presidente Castelo Branco, 5446）で開催する。両日とも午前９時に始まり、初日に予選、二日目に本選が行われる。二日目の午前９時から開会式が行われる。

　男子は２２回目、女子は１０回目を迎える。先月２７日時点で出場国はブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ベネズエラ、チリが確定。団体戦で優勝したチームは来年ハワイで開催される「世界相撲選手権大会」への出場権を手にする。

　ブラジル代表は、今年７月に台湾で行われた世界相撲選手権で重量級２位に輝いたジョアン・アフダ選手（１８、聖北西相撲連盟）が出場。全伯大会で入賞した猛者２０人が個人戦・団体戦に出場する。

　ＪＩＣＡ青年ボランティアの相撲指導員・飯田浩之さん（２３、茨城県）は「実力ある選手が出場するので十分、優勝を狙える。ぜひがんばってほしい」と力を込めた。

　問い合わせは同連盟（１１・５６３１・３８４８）、大瀧多喜男理事（同・９９７３８・６０６８）まで。